らびっとくらぶ フロアガイド

～実はこんな工夫をしています～

★歩道が広いので短時間の乗降は玄関前でおこなうことができます。
★スロープをつけ車いすの子も使いやすいようにしてあります。
★靴入れは、着いてから自分でしまえる位置にしてあります。

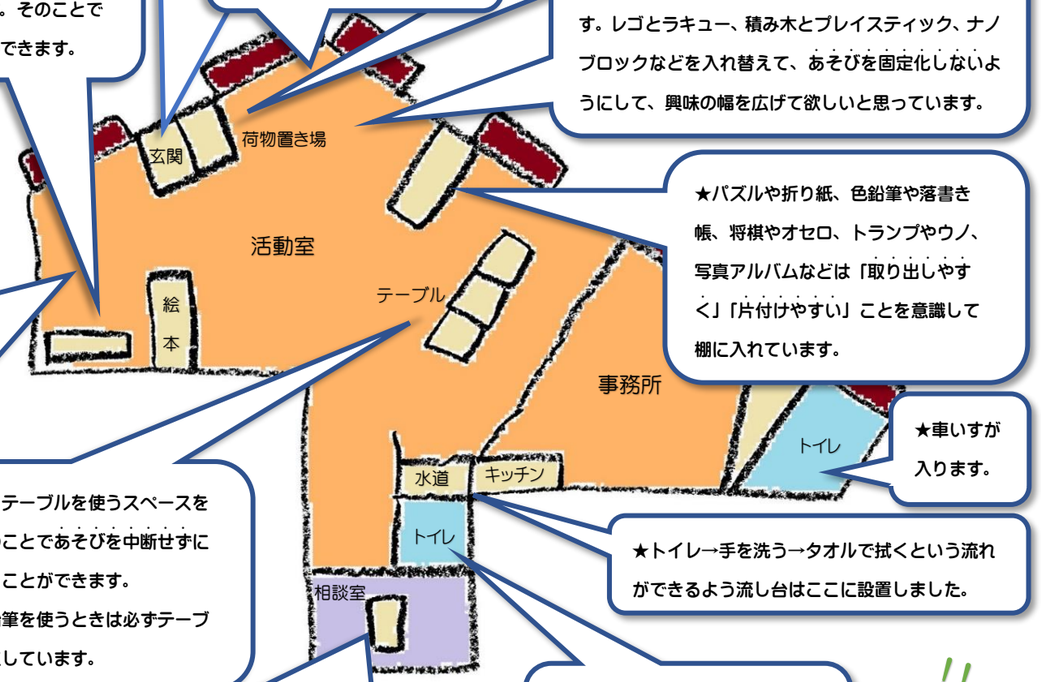
★本当は玄関から自然にアプローチできる場所に荷物置き場を置きたかったのですが、諸事情でこの位置です。この位置だと荷物を置きに行く前に、あそび道具が目に入ってしまうので、支度の促しが少しやりにくくなっています･･･（涙）
★棚の上には外遊び用グッズ。公園に行くときすぐ取れます！

★おままごとコーナーは、座ると視界が少し狭まるように絵本の棚を配置してあります。そのことであそびの世界に集中できます。

★子どもの作品や立体パズルは見せる収納を心がけています。

★定期的にあそび道具を入れ替えるようにしています。レゴとラキュー、積み木とプレイスティック、ナノブロックなどを入れ替えて、あそびを固定化しないようにして、興味の幅を広げて欲しいと思っています。

★帰りの会では必ず絵本の読み聞かせをして、帰りの支度やクールダウンを促しています。



★パズルや折り紙、色鉛筆や落書き帳、将棋やオセロ、トランプやウノ、写真アルバムなどは「取り出しやすく」「片付けやすい」ことを意識して棚に入れています。

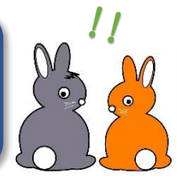
★車いすが入ります。

★あそぶスペースとテーブルを使うスペースを分けています。そのことであそびを中断せずにおやつなどを食べることができます。
★ハサミやのり、鉛筆を使うときは必ずテーブルの上でやるようにしています。

★トイレ→手を洗う→タオルで拭くという流れができるよう流し台はここに設置しました。

★相談室は落ち着かないときなどの「シェルター（一時避難場所）」として利用できるようにしています。

★子ども用のトイレには手すりを設置して、介助の必要な子たちにも対応できるようにしてます。



★内装と棚、家具は刺激的な色を避けて、全体的に白や淡い色を選んでいます。さらにちらつき防止のため電灯はＬＥＤ式を使っています。
★壁面も「視覚情報」による刺激を減らすため、なるべく掲示物を少なくしています。掲示物は一ヶ所に集めるようにしています。
★活動室の床は暖かみのある色合いを選び、傷がつきにくく滑りにくい、ワックスが不要な床材を選んでいます。
★各所にあるカーペット（防炎・防かび）の配置で、おおよその目的別にコーナー分けをしていて、あそびが混在しないようにしています。
★棚とカーペット、牛乳パックのいすを置くことで「視覚的制御」を考え、むやみに走り回らないような配置にしています。
★窓面は目隠し効果を持ちながらも、あえて上面と下面は外の景色が見えるようにしています。（働く車が通ったら見えるように！）

おもちゃについて

らびっとくらぶの中にはおもちゃがたくさんあります。おもちゃは大切なコミュニケーションの道具だと思っています。

分け合うこと、譲り合うこと、認め合うこと、我慢すること、自信を持つこと、続けること、興味を広げること、想像すること、集中すること、ルールを守ること、片付けること･･･など、生活の中で役に立つことは、あそびを通して知ることができます。

らびっとくらぶのおもちゃは電池や電気を使いません。（プラレールだけは例外です）あそびを楽しむには自分からアクションを起こさないと遊べません。一人で難しいものは年上の子や大人に手伝ってもらい、やり方がわからなければ、誰かに聞いて･･･話しかけたりアピールしないと楽しめないのです。

人と関わりながら、あそびを楽しむことで心も体も育って欲しいと思っています。

おもちゃで遊んでいると子どもの性格や特性が見えてきます。苦手なものには手を出さない子、なんでもやってみる子、一人で集中したい子、色の使い方や形にこだわる子、とにかくみんなとあそびたい子･･･それぞれの得意なところを伸ばして、新しいことに誘い、やってみたらできた！という思いに共感しながら、大人も一緒に楽しんでいます。
（平成 29 年 3 月現在でおもちゃの数は 80 種類）